



岩崎灌園『本草図譜』に描かれた芍薬

芍薬 (シャクヤク)

中国東北部から東シベリア地方に分布するボタン科の多年草。紅や白色などの大型の花が豪華で美しく、一般には観賞用として園芸品種が親しまれている。薬用部位は根。元来「芍」は「勺」で馬王堆医書(紀元前2世紀)や武威医簡(紀元前1世紀)に「勺薬」の文字が見られる。『神農本草経』(1-2世紀)にも「芍薬」として収載され「邪気・腹痛を治し、血痺を除き、堅積を破り…」と記される。平安時代の『本草和名』には「和名 衣比須久須利」とあり、異国からきた薬草の意味で記載されている。現代では鎮痛鎮痙薬や婦人薬などとして用いられ、芍薬甘草湯、当帰芍薬散、葛根湯など多くの漢方処方配合される。当研究所が扱う生薬のうち使用量が茯苓に次いで2番目に多い重要な生薬の一つである。(p.3へ続く)

新たな感染症との戦い

漢方診療部 部長 鈴木邦彦



先日、読売新聞の記事に「味覚は記憶を呼び覚ますという。カップヌードルの発売から50年。世界で500億食を超えたというから、どれだけの思い出が作られたらう。日清食品の創業者、安藤百福さんは味覚と記憶の関係を鋭く見抜いていた。『食品はおいしすぎてはいけない』。少し余白を残せば、ずっと親しみながら飽きずに買ってもらえるからだ」とあり、味覚の重要性を改めて思いました。

有史以前より“人類の歴史が細菌やウイルスとの戦いであった”ということは、これまでの歴史上様々な事象からみても明らかで、新型コロナウイルスは現在、医療にとどまらず国民生活に深く影響を及ぼしています。当研究所では2021年1月より「漢方オンライン風邪(かぜ)外来」を開設し新型コロナウイルス感染症後遺症の診療を実施していますが、後遺症に関する相談や診療のご要望を多く受け、新たに対面での「新型コロナウイルス感染症後遺症外来」を本年6月より開始しております。新型コロナウイルス感染症の後遺症については不明な点が多く、厚生労働省の診療の手引きに「症状の遷延(いわゆる後遺症)」の記載はありますが、未だに治療の手段は確立していません。当研究所外来を受診していただき漢方専門医による問診の聴取と舌

診・脈診・腹診などで全身の状態を把握し、ご希望も考慮し最善の漢方薬を処方し、全身のバランスを調整する漢方治療に回復促進効果があると考えています。後遺症としては倦怠感、呼吸困難、ブレインフォグ(記憶障害、集中力の低下、精神的な疲労)、関節痛、不眠、脱毛など多彩な症状がありますが、この数か月間の外来診療において特に嗅覚・味覚障害の重症の方が多いという印象を持っています。海外に目を向けるとフランス、アメリカ、中国など各国からの報告が相次ぎ、イタリアからの報告では発症から約2か月の時点においても87.4%の患者さんが何らかの症状を訴えられています。頻度の高い症状としては倦怠感、呼吸困難、関節痛、胸痛などありますが、その他にも嗅覚・味覚障害、頭痛、めまい、下痢など多くの症状を抱えています。これらの原因としては自律神経機能の不具合や血栓、ホルモン異常などが考えられていますが、現在のところ明確な回答はありません。標準的に後遺症全般に対する治療指針はなく、症状に応じて文献などを参考にしながら内服治療などが行われています。しかしながら治療に難渋する例が多く、QOLの低下も問題となっているのが現状です。漢方薬が後遺症の治療において有用であるかを検証するため、「新型コロナ

ウイルス感染症罹患後の後遺症症状に対する漢方薬治療の効果と安全性についての実態調査」も現在進行中であります。漢方治療は元来後遺症を含めた感染症への対応が起源となって生まれた医療で、原因不明の多彩な症状や徴候にも対応することができ、漢方がコロナ後遺症の治療において有効であることが明らかとなれば、世界中で苦しむ多くの

人々を漢方薬で救済することが可能となります。今後は新型コロナウイルスに対する有効な治療薬やワクチンが開発され収束に向かうことが予想されますが、さらに新たなウイルスが出現するのは確実です。近い将来次なるパンデミックに備えて反省すべき点を分析し、日本の貴重な伝統医学である漢方の叡智を活用することが肝心です。

『外来担当の挨拶』

鍼灸診療部 東川 怜央



2021年10月より鍼灸外来を担当いたします、東川怜央です。2020年に東洋鍼灸専門学校を卒業し、同年4月より本鍼灸診療部にてレジデントとして研修していました。まだ鍼灸師としてのキャリアは始まったばかりではあり

ますが、私の鍼灸をはじめとした東洋医学との関りは幼いころから記憶があります。助産師の仕事にも携わっていた鍼灸師の曾祖母をはじめ、鍼灸やリハビリテーションなどの医学・福祉の分野に携わる親戚が多くいたことから、鍼灸や漢方に対して自然に馴染んでいたように感じます。「新生児にはマクリ（海人草）を飲ませて胎毒を出せ」、「霜焼けには鍼を刺して中の瘀血を取り、直接お灸をすると治りが早い」、「風邪の引き始めは葛根湯、鼻水の出るときは小青竜湯」、など、東洋医学に関係する生活の知恵ともよべるものが身の回りにありました。私自身もアレルギーや小児喘息があったことから、幼いころより患者として鍼灸を受療しており、その効果を実感してきた身でもあります。またこれまで太極拳をはじめとする中国武術や武道を練習してきた経験も、東洋医学に対する興味の源になっています。太極拳や気功などの東洋的世界観のもとで考案、形成されてきた身体の動かし方や扱い方について学ぶ過程においては、単なる日常生活のなかだけでは

見落とされてしまうような動きや使われていない体の部位、感じ取れない心のはたらきや認識の形態に出会うといったことが多く起こります。このような経験を経て、人間の身体の持つ可能性と奥深さに強い関心を抱きました。この古き良き東洋に伝わる伝統技能と知恵の体系を身につけ、実践し、次世代に継承していくことについて非常に大きなやりがいと期待を感じ、鍼灸師を志しました。

多くの方がご存じの通り、東洋医学には数千年の長い歴史にわたって醸成された膨大なメモリーが存在します。鍼灸についていう限り、明確に分離することはできないもののその内容は、知識的蓄積と身体的実践に分けられると思います。鍼の技がなければ患者さんの身体に影響効果を与えることはできず、逆に鍼の扱いにたけていても東洋医学の世界や思想の中で用いられなければその真の実力を発揮することはできません。臨床においても、病を見るだけでは足りず、患者さんを観るというだけでもない。そんな「知と身体の総合格闘技」のような実践において、社会の福祉と患者様の健康増進のために尽力し、日々の研鑽を積んでまいりたいと思います。



生薬豆知識

シャクヤク
芍薬

薬剤部 小泉 洋太



生薬となる薬用作物も野菜などの一般作物も同じ農作物です。しかし、薬用作物には一般作物とは異なる特徴があります。今回はそんな観点から、生薬としての芍薬ができるまでについてお話します。

薬用作物の特徴その①は「栽培年数が長い」です。野菜類はほとんどが1年以内に収穫されるのに対し、芍薬は植え付けから収穫まで4-5年を要します。もちろん1年で収穫される薬用作物もありますが、栽培期間が複数年となるものが多く、芍薬は長い時間かけて薬用部位となる根を肥大させるのです。当研究所の芍薬は国産では最高級とされる大和芍薬の品種「梵天」を採用しています。2018年秋、薬剤部は富山県の芍薬の産地を視察しました。美しい花とはうらはらに根は巨大で重く、収穫体験では一株の掘り上げに大人2人が鋤を手にしてやっとのことでした。ちなみに薬用にする場合は根に栄養を巡らせるため、花は蕾のうちに摘み取ってしまいます。

特徴その②は「収穫後に加工が必要」です。昨年末は奈良県の老舗薬種商「福田商店」の加工場を訪れました。芍薬は収穫して直ぐに出荷できるわけではありません。芍薬の根は畑から生の状態で運ばれてきます。まず特別な機械に投入し、皮

を去りながら水洗い、そして陰干し自然乾燥、手選別、刻みと伝統的な加工が半年以上もかけて行われていました。これによって大和芍薬の自然な色合い、ささやかな甘み、香りが生まれます。余談ですが、こむら返りに即効性のある芍薬甘草湯という漢方薬をご存じでしょうか？芍薬の独特な香りたどよう加工場で、代表の福田浩三博士は「効きそうな香りでしょ。この香りを毎日嗅いでいるから、僕ら夫婦はこむら返りなんか一度もない」と、笑いながら冗談まじりに話して下さいました。特徴その③は「医薬品の規格をクリアする」です。我が国には『日本薬局方』という医薬品の規格基準書があり、芍薬はペオニフロリンという薬効成分を2.0%以上含むことと規定されています。丹精込めて栽培・加工された芍薬は製薬会社で品質が最終的にチェックされ、当研究所に届きます。

生薬は天然物であるがゆえ、産地や栽培・加工法などで品質が変わります。薬剤部では高品質な生薬を皆様にお届けするため、産地の視察を積極的に行っています。薬用作物の手の込んだ栽培・加工の大変さと素晴らしさをいつも感じながら、私たちは産地と皆様をつなぐ架け橋のような存在でありたいと思っています。



掘り上げられた根



生薬（原形と刻み）



大和芍薬（白花梵天種）

ツボの効用

膝の痛みに髀関

鍼灸診療部 伊藤 雄一



髀関穴は、大腿前面の上の方で、股関節のすぐ下にある経穴です（図1）。「髀」という漢字は、大腿骨や、大腿骨がはまる骨盤の一部、「関」は関節を意味します。その名前からも想像できるように、股関節の疾患に有効な経穴です。

全身を循る正経十二経脈でみると、足陽明胃経

（図2）に所属しており、この経脈上の股関節以外の疾患にも効果が期待できます。その中でも特に期待されるのが膝の疾患に対する治効です。古代中国の最も重要な医学書のひとつ、『鍼灸甲乙経』（西晋・皇甫謐著）には「膝寒痺不仁して屈伸すべからざるは、髀関、之を主る。」とあり、冷えなどによ

る麻痺や痛みで膝が屈伸できないとき、髌関穴への鍼やお灸が効果的であることが示されています。

一方、現代の解剖学的にみても髌関穴が膝の疾患に効果的であることがわかります。髌関穴は皮膚の表面から見ただけではわかりにくい位置にあります。図1に示したように、下肢にある3つの筋肉、縫工筋、大腿直筋、大腿筋膜張筋の交わるところにあります。

3つの筋肉の走行を詳しくみていくと、まず縫工筋は、腸骨に始まり、股関節の外側から大腿の前面を斜めに走り膝の内側を通過して脛骨まで至っています。人体にある約400の骨格筋の中で最も長い筋肉で、股関節だけでなく、膝関節の動きにも関係しています。次に大腿直筋は、股関節の外側、腸骨から始まり、大腿の中央を走り、膝蓋靭帯を介して膝を超え、脛骨まで至ります。膝を伸ばすときに強く働く筋肉です。大腿筋膜張筋も同様に股関節の外側、腸骨に始まり、大腿の外側上部にあり、筋肉としては前出の2つと比べると短いですが、途中から脛脛靭帯となって

膝の外側を通過して脛骨に付着します。これら3つの筋肉は、どれも股関節の外側から始まりますが、それぞれ膝の内側・中央・外側を通過して脛骨に至っており、股関節にも膝関節にも関係の深い筋肉であることがわかります。

膝が痛いときは、膝の周囲ばかりが気になりがちですが、髌関穴は、離れたところから膝に効く経穴といえます。少し見つけにくいかもしれませんが、押してみると痛みがあり、股関節や膝の方に痛みがひびくこともあります。自分でも指圧しやすいところにありますので、膝や股関節の疲れや痛みを感じたときに試してみてくださいはいかがでしょうか。

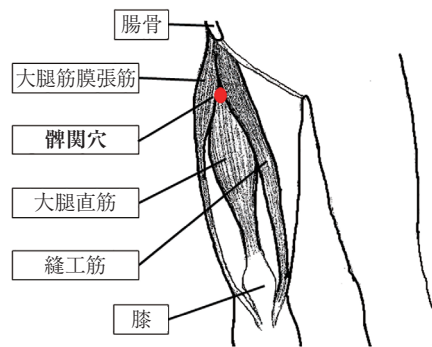


図1: 髌関穴の位置



図2: 足陽明胃經

東洋医学総合研究所 漢方鍼灸治療センター 外来案内

休診日: 日曜日・祝祭日・年末年始(12/29～1/3)
ホームページ: <http://www.kitasato-u.ac.jp/touei-ken/>

漢方科 2021年7月1日～						
	月	火	水	木	金	
午前	花輪 ^① 星野 森(裕)★ 石毛	花輪 鈴木 森(裕) 石毛★ [冷え症外来] 伊藤(剛) ^②	花輪 ^③ 川鍋 石毛 中尾	花輪 小田口 川鍋 森(瑛)	伊藤(剛) 鈴木 星野 森(裕)	小田口 ^⑤ 及川 ^④ 鈴木 ^⑤ 星野 ^⑤ 森(裕) ^⑤ 川鍋 ^⑤ 石毛 ^⑤
午後	森(裕) 川鍋 [冷え症外来] 鈴木	伊藤(剛) 鈴木 伊東	星野 川鍋 石毛	小田口 川鍋★ 及川 ^④ 五野 中尾	鈴木★ 星野 森(裕) 伊東	

鍼灸科 2021年10月1日～						
	月	火	水	木	金	
午前	伊藤(剛) 黒岩 石原 小山	柳澤 井田 石原	石野 井田 黒岩 石原	伊藤(剛) 伊藤(雄) 小山	伊東 黒岩 近藤 石原 東川	伊東 ^⑦ 井田 ^⑦ 黒岩 ^⑦ 伊藤(雄) ^⑦ 近藤 ^⑦
午後	井田 近藤 石原 小山	黒岩 伊藤(雄) 近藤 石原	伊東 伊藤(雄) 近藤 石原	井田 黒岩 伊藤(雄) 小山	伊藤(剛) ^⑥ 井田 伊藤(雄) 石原	

※12月～ 黒岩休診

※黒字は男性医師または男性鍼灸師
赤字は女性医師または女性鍼灸師
※専門外来では一般の患者様の診療も行っています。
※★印はコロナ後遺症外来

- ① 月曜日午前の花輪医師の外来は、初診の方のみとさせていただきます。
- ② 火曜日午前(第1・3)の伊藤(剛)医師の冷え症外来は、初診のみとさせていただきます。
- ③ 水曜日午前の花輪医師の外来は、第2水曜日を休診とさせていただきます。
- ④ 木曜日午後の及川医師の外来は、第2木曜日のみとさせていただきます。
- ⑤ 土曜日の外来は、交代制となります。スケジュールはホームページまたは予約電話へお問合せください。
- ⑥ 金曜日午後の伊藤(剛)医師の外来は、毎月第1・2・3金曜日のみとさせていただきます。
- ⑦ 土曜日の外来は、交代制となります。スケジュールはホームページまたは予約電話へお問合せください。

予約電話: 03-5791-6169
(月～金) 8:30～11:00
及び
12:00～16:00
(土曜日) 8:30～11:00
お薬に関するの問い合わせ:
03-5791-6167
その他のお問い合わせ
代表: 03-3444-6161

初診受付時間

漢方科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～10:30	8:00～10:30
午後	12:50～15:00	

鍼灸科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～10:00	8:00～10:30
午後	12:50～14:30	

再診受付時間

漢方・鍼灸	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～11:00	8:00～11:30(鍼灸) 8:00～12:00(漢方)
午後	12:50～15:30	

漢方ドック

月～金曜日(完全予約制)
9:00～15:30



WEBサイト